支え合って楽しい子育てを
―母子保健推進員座談会―

二月号から母子推進員と子育て中のお母さんの座談会の様子を掲載しています。前回は地域で子育てを応援している母子推進員の活動についてご紹介しましたが、今回はお母さんの悩みから、子育てしやすい環境について考えてみたいと思います。

不安解消は仲間づくりから

――「おんぶはいつからしていいの」とか「夜泣きがやまない」「体重はこれでいいの」など、お母さんにとって子育てには心配がつきものです。以前は家庭や地域でいろいろとアドバイスが得られるのが当たり前だったのですが、現在は社会環境が変わって、そのような機会があまりなく、お母さん同士が話し合うことも少なくなって、一人で悩むお母さんが多いようです。

高岡市では、そのようなお母さんを支援し、妊娠や育児に対する不安を解消するために、乳幼児健診のほかにもいろいろな事業を行っています。出産を控えた両親を対象にした「これからママの集い」、乳児のお母さんを対象にした「ゆうゆう赤ちゃん（子育て教室）」、育児相談やお母さん同士の交流を図る「ぴよぴよルーム」などです。参加者からは「出産後にまた会おうね」「少し父親になるという実感が持てた」「童心に返って楽しい」など、これらの事業を通して仲間づくりも進んでいます。

今日参加されているお母さんの中でお二人は「ぴよぴよルーム」を通じてできたサークル「わいわいキッズ」に参加されていますが、参加していかがでしたか。

《これからママの集い（母親教室）》
友達づくりに発展しています。

《ぴよぴよルーム》
保母さんＯＢの応援もあります。

横山　近所に同じくらいの子供がいなくて、友達もおらず、子供のことより自分が外に出られないことがゆううつでした。参加して二、三か月の子供を見て、「あんなになるのだな」と安心できました。月一回のぴよぴよルーム以外にも自分たちだけでもう少し集まりたいと思って声を掛け合い、わいわいキッズが始まりました。

竹島　県外から嫁いできて同世代の友達がいなかったので、ぴよぴよルームには早くから参加していました。夜泣きがつらかったのですが、話し合うことで解消しました。月一回だと病気や用事で来れないことがあるので、週一回保健福祉センターを開放していただければと思います。

お母さんが集まれる場を

横山　同世代の人だと話が合います。公民館を開放していただくなど、ここにいけばいつでも同世代の人と会えるという場所がほしいですね。それから自分だけで子供を見るというのはけっこう疲れるものです。保育所で1時間くらいでも子供を見てくれるというような取り組みがあればよいのですが。昔風からそうして慣れていれば、いざ保育所に子供を入れるときも安心ですし。

《子育て教室》
人工呼吸、みんな真剣です。

――現在でも子供をつれていけば少しの間一緒に遊ばせてくれるところは多いようですよ。センターでも週一回程度は部屋を開放するということも考えています。現在南国市では健康文化都市づくりに取り組んでおり、妊産婦や子供たちも安心して暮らせる「誰にもやさしいまちづくり計画」を進めています。これからも小児科医や保育所との連携、協力を図りながら「子育ては楽しい」の合言葉をさらに広げていきたいと思っています。

ゆうゆう赤ちゃん（子育て教室）、ぴよぴよルームのご案内

★ゆうゆう赤ちゃん

育児に追われる中、余裕を持ってゆっくりと自分の子供を見たり、他のお母さんとの話し合いや相談、そしてみんなで少し遊んで子育ての不安や悩みを解消しませんか。

申し込みは4月19日(金)までにお願いします。

日時	内容
4月26日(金) 13:30~15:00	離乳食講習会 ～皆で楽しく作りましょう～（エプロン、母子手帳、ふきんをご持参ください）
5月14日(火) 13:30~15:00	小児科の先生のお話 ～日ごろの疑問に答えてもらえます～
5月23日(木) 13:30~15:00	乳幼児の応急手当 ～いざという時のために習いませんか～

★ぴよぴよルーム

毎月一回実施しています。保母さんと一緒に遊んだり、奇数月には歯磨き教室もあります。子供とお母さんの交流をしてください（申し込み不要）

実施日時は、4月22日(月)、5月20日(月)、6月20日(水)の午後1時30分～3時です。

◪ところ　保健福祉センター

◪参加料　いずれも無料

※お問い合わせは保健福祉センター（☎(69)7373）まで

ポリオ（小児まひ）―予防接種の実施

ポリオ（小児まひ）予防接種を実施します。

予防接種法が改正され、接種を希望される人全員に診察を実施することになりました。このため、予防接種にかかる時間が長くなることが、想されます。

そこで、左下表の通り対象地区を指定しました。なお、都合の悪い人は他の日時、場所においでください。

◪対象者

生後三か月以上九十か月（七歳六か月）未満の人で、ポリオ予防接種を二回受けていない人。予診票に有効期限を書いていますので、できるだけこの期間内に、六週間以上の間隔をあけて二回の接種を受けてください。なお、有効期限が過ぎた場合でも、生後九十か月未満の人であれば接種を受けることができます。

※次のような人は接種をひかえてください

①下痢をしている人（ポリオウイルスは、ワクチンを飲むことにより腸管内で増殖し、免疫がつくため）
②明らかに発熱している人
③重い急性疾患にかかっている人
④ポリオワクチンの成分によりアレルギーをおこしたことが明らかな人
⑤麻しん（はしか）、ＢＣＧ、風しん接種から四週間以内の人
⑥三種浜合、二種浜合、日本脳炎接種から二週間以内の人
⑦その他、予防接種を行うことが不適切な人

※お問い合わせは保健福祉センター（☎(69)7373）まで

◪実施日時および場所

実施日	時間	場所	対象地区
4月5日(金)	午前11:00～11:15	久礼田体育館	久礼田、瓶岩、黒滝、奈路
	午後2:30～3:00	岡豊公民館	岡豊、白木谷
4月8日(月)	午後1:30～2:15	保健福祉センター	長岡、駅前町、後免、野田、稲生
4月9日(火)	午後2:00～2:40	十市支所	十市、緑ヶ丘
4月11日(木)	午後1:30～2:15	保健福祉センター	大篠
4月12日(金)	午後1:30～2:15	保健福祉センター	日章、岩村、前兵、三和、国府

ハーイ ちっくと ごめん

ブルデンシオ・B・ペドロ（フィリピン）
PRUDENCIO B PEDRO

フィリピンのベンゲット州から高知に来ました。今年はベンゲット州と高知県が姉妹都市提携をして２０周年になります。最初は、佐川町の高知県畜産試験場にいましたが、４年前からは、高知大農学部で動物の繁殖についての研究をしています。主に、マウスやラビットを使っての体外受精、体外培養を行っています。またフィリピンでは水牛が大切な動物で、水田を耕すのに水牛を使っている農家も多くあります。ですから水牛の繁殖についても研究しています。

高知の良いところは、安心して住めるところだと思います。食料品も野菜から肉、魚とおいしいものが何でもありすばらしいです。今年の春には小学生の子供たちをＥ本に呼ぶようにしています。一度日本での生活を体験させたいからです。日章小学校でお世話になると思いますのでよろしくお願いします。